

伝統から知識と技術を学ぶ

# 中国医学

Traditional Chinese Medicine

## 実践講座 通信 Vol.1

一般財団法人 ヘルスケア社会医療研究所  
長春中医薬大学 共催

中医学  
コース

やくぜん  
薬膳  
コース

すいな  
推拿  
コース

### CONTENTS

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| ● ご挨拶                          | 2 |
| ● 中国医学実践講座開講から現在までの<br>歩みとこれから | 4 |
| ● 講座修了者の皆様からのお便り               | 5 |
| ● 国際中医薬膳管理師資格認定制度              | 8 |

めざせ!!  
国際中医師・  
国際中医  
薬膳管理師  
資格取得





一般財団法人  
ヘルスケア社会医療研究所  
The Institute for Health Care  
and Social Medicine

理事長

太田 伸

Ohta Shin

前東京薬科大学副学長  
医学博士

近年、我が国では免疫学をはじめ予防医学に注目が集まり、ヘルスケアの概念が重要になって来ました。ヘルスケアとは、「病気の予防」のことです。病気にならないため、さらに健康を維持し、老化を遅らせるための実践がヘルスケアです。当財団法人は、広く人間生活でのヘルスケア実践による社会貢献を最大の目標として 2015 年 7 月に 3 名の研究者の個人出資で設立された研究所です。私自身、長年医療・大学教育に携わって来ましたが、若手研究者が研究資金面で苦勞しておりまして。本法人では、ヘルスケアに関係する研究者の研究活動を助成する一方で、社会人教育に注力し、学問と社会一般との橋渡しを行っております。

具体的には若手研究者への研究助成、社会人教育として中医学実践講座の開催、日本ヘルスケア協会の協力を得て中国医学部会の設置、学会活動などを行って来ました。これらの活動は、ヘルスケアの役割と社会医療におけるニーズに適合する先進的なものであり、必ずや社会貢献ができると確信しております。

また当財団では、予防医学、未病医学の観点から中国の長春中医薬大学、および長春中医薬大学附属医院とも学術連携して一般財団法人

東京薬科大学附属社会医療研究所から移管して中国医学実践講座を運営しています。自分自身や家庭での健康志向の強まりでこの講座への関心も高く、沖縄、山口、愛知、長野からも受講者を得て発展して来ました。**2020 年 12 月のこれまでに約 1,820 名の受講修了者、69 名の国際中医師資格認定者（合格率 85%）を輩出し皆様大いに医薬福祉の社会でご活躍されています。**

しかし、まさかの事態が新型コロナウイルスの世界的蔓延とそれによる社会経済の活動停止という未曾有の危機の発生です。この困難を克服するにはまだ時間を要しますが、人々の叡智によって感染防止やワクチン開発や新たな活動のあり方が模索されています。当財団も集合講座の開催停止を転機として e ラーニングに活路を見出しました。

まだまだ厳しい状況ではありますが、こうしたコロナ禍のなかでこそ、日常のお仕事や暮らしのなかでの予防医学の考え方は重要です。当財団では、この観点より中国医学を広く普及させていく活動を継続強化して参ります。

今後とも、皆さまのご理解とご支援を賜りますように心よりお願い申し上げます。



主任講師

王 少麗

Ou Shourei

前長春中医薬大学助教授

初級・中級・上級講座ならびに薬膳講座、推拿講座の修了者の皆さま。

こんにちは、王 少麗です。

大変ご無沙汰しております、お元気で活躍のことと思います。

2020 年の中国医学実践講座初級コースが e ラーニングになってしまったことは新型コロナウイルス感染防止のため仕方ないですが、みなさんとお会いして講義をしてみなければ理解度がわからないことも多く、それが出来ないことが一番残念なことでした・・・と 2020 年の受講者の皆さまには記しました。

ただ本当に残念なことは未だにこの感染が世界的に蔓延して感染者が増加している厳しい現実です。

私は吉林省長春中医薬大学で中医学を長年教えていました。2014 年 4 月から東京薬科大学の当時の笹津学長の提唱で始まった中国医学実践講座を当初から講師として教えておりますが、この度のような講座が開けないという災難は勿論初めての経験でした。

今回、中国医学に関心の高い皆様の理解で e ラーニング形式となりましたがたいへん多くの受講者を得て、中国医学実践講座は継続しています。7 年が経過して、初めて広報誌が発行されます。これを機会に受講された内容を再確認し、あらためて講座で学んだ知識を日常生活に活用していただき充実したお仕事、暮らしを送られることを念じております。

この講座は毎年 3 月に薬膳講座も設けています。

初級・中級講座と薬膳講座を完成させて、その後に世界中医薬学会連合会（中国の資格認定機関）認定の国際中医薬膳管理師資格へ進むコースも 2021 年度に新しく設けました。

またいつか、こうした講座を通じてみなさまとお会い出来る日が来ることを願い、そして、講座完成されたみなさまのご健康ご多幸をお祈りしてご挨拶と致します。

修了者の皆さまと講座を繋ぐ広報誌第 1 号をご覧いただき、ありがとうございます！謝謝！



# 中国医学実践講座開講から現在までの歩みとこれから

## 講座の開講と現在までの歩み

現在、一般財団法人ヘルスケア社会医療研究所（前称：東京薬科大学附属ヘルスケア研究所）が行う中国医学実践講座は、2013年5月6日に当時の東京薬科大学学長笹津備規先生が長春中医薬大学の宋伯林学長と学術交流協定を締結され、その一環として2014年4月に東京薬科大学千代田サテライトキャンパス（通信病院管理棟）で始まりました。長春中医薬大学をパートナーとしたのは1984年に中国中医科学院との間で学術交流が開始され、以降の同院研究員が東京薬科大学で研究活動したご縁によります。



中国医学的な医療手法（伝統医療の叢智を現代の日常生活における養生に反映させることや、予防医学を実践すること、医食同源の考え方と食事療法の推奨）の習得を目指す講座で、初級、中級、上級という2年近い期間で勉強熱心な方に受講していただくことが必要な条件でした。＜中国医学＞という概念が世間一般に普及しておらず、まだ「薬膳」というイメージの方が馴染みがあり、その意味では、受講者としてどれ位の方に応募していただけるかは不安な面もありました。

薬学生を対象とした講座ではなく、医療事業に従事されている方々（医師、看護師、薬剤師、登録販売者、社会福祉士、栄養士、鍼灸師など）の自己研鑽やご自身の健康増進を図りたい方々に是非とも受講していただきたく、広く社会に向けた公開講座として出発しました。

この中国医学実践講座の開講のために長春中医薬大学は全面的な協力を惜しみませんでした。長春中医薬大学中医学部を1984年に首席で卒業し、2014年当時、長春中医薬大学中医学部の新進気鋭の助教授であった王少麗先生が講座主任講師に抜擢されました。王少麗先生は長春中医薬大学を卒業後に2年間長春外国語学校日本語学部で日本語を習得され、長春中医薬大学の教員期間中も日本に留学して、富山県黒部市民病院内科研修医、順天堂大学病院研修医として実績を積まれました。茨城大学では研究者として活動されるなど、大学の教育や医療面に日本への理解も深く、日本において中国医学実践講座を伝承するに申し分のない実績の持ち主でした。東京薬科大学からの熱心なお誘いもあり、王少麗先生は両大学が共催する「中国医学実践講座」の主任講師として、2014年の春に再来日されました。

王少麗先生の熱心な初級、中級講義と共に、上級講座、薬膳講座、推拿（漢方や鍼灸と並ぶ中国の三大療法）講座は長春中医薬大学から専任の講師が来日し、2ヶ月間滞在して講義（王先生と高橋京子講師の通訳付）をされて多くの受講者様の評価を得ました。

2014年4月の第1期（初回は初級講座のみ）



以降、2020年後期（第14期）までの短期間に延べ1800名以上の方々が受講されています。

中国医学実践講座は2014年度は第1期の初級講座でしたが、後期9月からは初級講座と中級講座が並行し、2015年後期からは上級講座も開始されました。

同時に2016年12月には世界中医薬学会連合会（王少麗先生はこの連合会中医治末病専門委員会理事でもあります）と国際中医師資格試験の日本国内での試験実施受託を得て国際中医師資格試験を実施して、この国際中医師資格試験は今も継続し平均86%の高い合格率となっています。

そうした評価が中国でも広まり、2016年10月22日が世界伝統医学の日ということで、その日の中国国内向けのテレビ放映のために10月19日には新華社通信が来日し、上級講座を取材して放送したこともありました。



運営事務局では受講者様の要望実現のため長春中医薬大学とその付属医院（第1、第2）での実践的研修、実技、講座も2015年8月から2018年8月まで4回開催しました。この長春中医薬大学研修は2021年以降、コロナ収束が実現しましたら是非再開したい行事です。

その後、中国医学実践講座はいくつかの契機を迎えました。2018年までは東京薬科大学の主催でしたが、提唱された笹津学長が退任され、2019年度からは一般財団法人東京薬科大学附属社会医療研究所、2019年11月より現在の一般財団法人ヘルスケア社会医療研究所による運営となり、引き続き王少麗先生を主任講師として事務スタッフもそのままです。

## 中国医学実践講座のこれから

2020年度も薬膳講座から開始しようとした矢先に新型コロナの世界的蔓延と感染防止の外出自粛となりました。今も多くの社会的・経済的、また学業分野にも影響を及ぼしていますが中国医学講座も例外ではありません。薬膳講座は講師が中国から来日出来ず中止、初級、中級も中止となりました。大変な事態だ！と講座継続について様々な論議を選択したのがeラーニング講座でした。DVD配信、Zoom講座とすることで、また別の事業展開が可能となったのです。

集合して受講する形式から物理的にも時間的にも開放されたことは新たな受講形態の開拓でした。確かに王少麗先生は直接講義をして受講者の皆さんの反応や表情を見ることが理解度を感じ確かめます。それが出来ないことは残念ですが、コロナ禍では仕方ありません。逆に長春中医薬大学の上級講師との講座はZoom方式を採用し、今では2021年度からの講座も展望を持って取り組むことが可能になりました。これからは新型コロナウイルス感染防止の取り組み状況やワクチン開発にもよりますが、集合講座も開講しつつ、eラーニング講座も併用するという双方の魅力を活用した

中国医学の普及に努めて参ります。

また、2021年度には新しく、＜国際中医薬膳管理師＞資格の取得が可能となる講座を設定します（詳細は8ページに掲載）。この資格は、既に当財団の講座で初級、中級と薬膳講座を修了された受講者様が受験できます（但し、復習が必要です）。薬膳講座は受講したがその他はまだという皆様は是非、初級・中級講座を受講してください。2021年11月（12月）に国際中医師資格試験と同時に＜国際中医薬膳管理師＞資格試験が開催される予定です。この＜国際中医薬膳管理師＞資格取得には上級講座は必須ではありません。勿論、上級講座修了者も薬膳講座を修了していれば受験資格があります。この資格試験の受託業務も世界中医薬学会連合会との協定によるものです。初級、中級は修了したが、薬膳講座は未受講の皆様は2021年3月に挑戦してください。



## 一般財団法人ヘルスケア社会医療研究所 沿革 2021/01/01現在

|         |                                                                                                                                                    |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2015年7月 | （財）東京薬科大学附属ヘルスケア研究所設立・登記・非営利財団<br>初代理事長 今西信幸氏<br>当時の東京薬科大学今西信幸理事長、笹津備規学長、太田伸副学長の個人出資で設立                                                            |
| 2017年5月 | 日本ヘルスケア協会＜日本ヘルスケア学会＞創立大会に参加（会員加入）                                                                                                                  |
| 9月      | 日本ヘルスケア学術大会（東京大学本郷キャンパスにて第2回大会：同会場で研究助成開始）                                                                                                         |
| 2018年4月 | 研究助成金交付（3件各30万円）                                                                                                                                   |
| 10月     | 日本ヘルスケア学会：産業部会「中国医学研究会」の発足                                                                                                                         |
| 2019年4月 | （財）東京薬科大学附属ヘルスケア研究所<br>第2代理事長 太田 伸氏 就任<br>名称変更：一般財団法人ヘルスケア社会医療研究所と法人名称変更・名称変更登記<br>事業所変更：東京薬科大学から東京都新宿区四谷三栄町へ主たる事務所を移転<br>事業目的追記：中国医学実践講座の事業を定款に追加 |
| 9月      | 日本ヘルスケア学術大会（明治大学にて第4回大会：全体会で中国医学研究会の発表）                                                                                                            |
| 10月     | 理事交代：笹津備規 理事退任、猪越英明理事就任（太田理事長、猪越理事、室井専務理事体制）                                                                                                       |
| 11月     | （財）ヘルスケア社会医療研究所へ中国医学実践講座を事業譲渡され運営開始（2019年11月1日）                                                                                                    |
| 2020年2月 | 中国医学講座＜薬膳講座3月＞について新型コロナウイルスによる講師出国困難のため中止を決定                                                                                                       |
| 4月      | 中国医学実践講座2020年度第13期集合講座を中止しDVDによるeラーニングを提案し開始                                                                                                       |
| 6月      | 長春中医薬大学との中国医学講座の学術協定締結                                                                                                                             |
| 9月      | 中国医学実践講座2020年度第14期集合講座をDVDによるeラーニングで開始                                                                                                             |
| 11月     | 中国国際中医薬学会連合会主催による国際中医師資格試験（5回目）                                                                                                                    |

# 講座修了者の皆様からのお便り

- Q1 中国医学実践講座を受講して（自己紹介と受講、思い出など）
- Q2 現在のお仕事での活用性
- Q3 その他（中医学講座に期待すること、ご意見、ご提案など）

## 桜木 淳 様

勤務先▶  
茅ヶ崎市立病院  
薬剤師



- 1 西洋医学（薬学）と異なる中医学を学習してとても良かったです。受講内容は今でも記憶に残っています

すし、国際中医師の試験勉強は今にして思えば良い思い出です。（当時はひたすら書いて覚えました…）

- 2 院内の薬局に勤務しています。漢方エキス剤も多く処方されます。中医学的な見地で処方内容を考えることもあります。西洋薬との組合せによる作用、副作用などこれからも研鑽をつんでゆきたいと思っています。

- 3 中医学は 3000 年～の歴史を礎にこれからも発展すると思います。西洋医学とコラボした学問となることを期待しています。中医学講座並びに先生方、スタッフの皆様の益々のご発展ご清栄を湘南海岸よりお祈り申し上げます。

## 石田 友里 様

勤務先▶  
調布東西薬局（受講当時）  
薬剤師



中医学講座を知ったのは、職場近くの郵便局に大きく貼られたパンダのポスター。仕事で知ったのですが立ち去りましたが、気になって数日後また見に行きました。その時はすでにポスターは撤去されていて、“大きな魚を逃してしまったかも…”とがっかりしました。

その当時、私は調剤薬局の仕事に無力感を感じていました。痛みや、めまい、不眠…様々な患者さんたちの症状に、薬剤師の自分が力になれることはほんのわずか。もっと患者様としっかり向き合う知識と技術が欲しい、そう思っているときにパンダのポスターを見てはっとしました。“そうか、漢方があった！”自然の力に寄り添い、オーダーメイドの治療を組み立てる漢方治療なら薬剤師の私にとっての最強の武器になると思いました。

すぐに漢方講座を探しましたが、何を基準に選んだら良いのか全くわからず難航しました。たまたま知人が「東西薬局に通信講座があるよ」と教えてくれたので、講座を受講するつもりで東西薬局に。そして、たまたま薬剤師の募集があってそのまま働きながら勉強する機会をいただけることになりました。

入社時の初回の面接で「勉強のためにこの講座を受講してね」と言われて渡されたパンフレットは見覚えのあるあのときのポスターのパンダ。やはり縁がありました。

初級から上級まで、レベルに合わせた講師陣に、授業内容も多彩であったという間でした。東西薬局の同僚は皆、他の講座で勉強してきていますが、中医学講座の初級のテキストは整理されていてわかりやすい、と感心していました。講座内では勉強法のアドバイスやおすすめの書籍などの情報交換もできるので、国際中医専門員試験の準備や、その後のステップアップの勉強にもとても役に立ちました。

講座を受講して一番の思い出は中医学研修旅行に参加できたことです。本場の大学病院で診察する様子を間近で見たり、本薬膳料理を味わったり。日本では漢方薬と言えば内服薬ばかりで多少塗り薬も使う程度ですが、中国では、浣腸や丸剤をツボに張ったり、蒸した生薬で温湿布のようなものを作ったり本当に幅広く漢方の力を応用していることに驚きました。また、推拿（すいな・中医学的マッサージ）や針、漢方薬のそれぞれの特性の違いを理解し、うまく組み合わせると多彩な治療計画をたてていることも感動しました。中国の人たちにとって漢方がどれだけ身近なものかを感じることができる、本当に貴重な経験です。

これは他の中国旅行ツアーでは考えられない濃い内容でした。

また、心をこめて接待をしてくれた受け入れ先のスタッフの対応は、中国のおもてなし文化を感じるとても暖かいものでした。中医学講座の内容は当時漢方薬局で勤務していたため、すぐ職場で実践していました。また、現場でわからなかったことも経験豊富な教授陣に質問できる環境も良かったです。経験を積み重ねるほど漢方の良さを多くの人に知って欲しいという気持ちが強くなり、今は地元の静岡に帰り、自分の漢方薬局を開局する準備を進めています。

これからの薬剤師は地域と連携して人々の健康を守る責務を期待されており、中医学の養生や漢方薬の知識は必ず必要とされると思います。遠隔地にお住まいの方や、仕事などで時間が都合をつけられない方もどんどん受講できるような講座システムになると良いですね。また、仕事として必要とする人だけではなく、身近な人を守りたいと思う人たちが手軽に受けられる薬膳講座や、鍼灸や推拿（すいな）の簡単な講座などが充実して欲しいと思います。病気になったら「病院へ行った?」、という現状が「病院に行った?それとも漢方?」となりますように。コロナ禍で激動の時代ですが、中医学講座が多くの人の笑顔を守る助けとなりますように願っております。

## 北 麻佐美 様

勤務先▶  
イスクラ研修塾生  
薬剤師



- 1 私は大学を出てから薬局薬剤師として働いていました。漢方薬は薬局でもよく扱うのに大学での授業内容は役に立たないし、メーカーからの冊

子も読んで『オッケー理解!』とはいかず、ちゃんと勉強しようと思ったところで受講生募集を見つけたのはもはや縁。出席パンダ、ホワイトボードのパンダ、インド占星術師な薬剤師さんと友達になったり、中国研修に行ったり（ここでお酒に強くなりました（笑））、国際中医専門員の資格を取り、講座から見学で行った先で経絡推拿を勉強して、今やイスクラ研修塾生と…色んな事がありましたが、最初が楽しかったからこそ途切れることなく今でも勉強しているんだと思います。

- 2 基礎をしっかり頭に入れて下さったので、そこから積み上げる形で今も勉強しやすいと感じています。

- 3 中国医学実践講座はずっと続いてほしいです！続く道の最初にここでもっと興味と勉強の楽しさと飲み仲間（笑）ができたことに感謝！



## 阿部 真子 様

勤務先▶薬剤師



1

私は、2019年に薬剤師国家試験に合格してから薬局薬剤師として働き、現在はイスクラ研修塾に在籍しています。  
受講のきっかけは忘れてしまいましたが、学校の授業で中医学を学んだ後に受講しました。

受講中に色々な人と出会えたのが、一番の思い出です。中には未だに年賀状のやりとりをしている人もいます。

2

漢方相談が出来る薬剤師として活躍したいと考えるきっかけの一つになったのではないかと思います。  
イスクラ研修塾において、授業に何とか喰らいつけていけているのは学校の授業、実践講座と基礎の下地があつてこそだと考えています。

3

私は中級講座まで受講させて頂きましたが、薬剤師国家試験の受験や職場の都合で日程が調整出来ず、上級講座が受けられませんでした。  
オンライン授業や受講時間が中々とれない人はオンライン授業の録画などを見せていただいて、後日試験ができるといった、柔軟な対応があると受講しやすいかと思います。

## 猿田 千奈美 様

勤務先▶看護師



1

元々中国医学に興味がありましたが地方在住では学ぶ機会がありませんでした。受講当時は介護施設で看護師として勤務しており、自分自身の健康はもちろん、利用者様の健康観察や異常発見に役立てたいと思い受講を始めました。  
中国・長春中医药大学への研修旅行にも参加し実際に中医学の現場を見学、研修、体験出来たことも大変貴重でした。

2

現在は介護施設も退職し自宅で主婦をしています。受講中に薬膳の本を数冊購入したので食養生を考えて食材を選ぶように心掛けています。  
自宅の畑でも野菜以外に生薬に使われる赤シソ等栽培を始めました。

3

**<意見><期待すること>**  
中国医学はまだまだ地方ではマイナーな分野で、医療関係の友人に話をしても「何それ?」と言われる。Eラーニング導入で学ぶ人が増えるといいな、と思います。

### 事務局よりー

お便りいただきました猿田千奈美様は安曇野市豊科在住の方で大変勉強熱心、長野新幹線で当日上京し講座を受講して帰郷の期間でした。現在は地元中心に穂高陶芸クラブで活動され洗馬焼等の作品を作製展示販売もされています。

## 中野谷 友紀 様

勤務先▶商社



1

私は医療従事者ではなく、商社に務めている者です。  
数年前から謎の頭痛に苦しめられ、WEB等で色々調べていたところ、偶然、中医学講座に出会い受講しました。  
数年前に長春中医学研修に参加させていただきました。  
特に印象に残っているのは、「脈」の実技研修です。  
私達チームメンバーの一人の脈をとった現地

の医師（講義を担当されていた先生）は、「あなた、右側の足の小指、骨折したことあるでしょ?」と。  
脈だけの情報でここまで言い当てられるとは想像もしてなかったので、とても驚きました。

2

私は医療従事者ではないので、自分の生活に取り入れています。  
具体的にいうと、元気がないときは、「気」が不足しているから、とうもろこしを食べようとか、眠れないから、おなかを擦ってみようとか目が疲れているから菊茶を飲もうとかこういった形です。  
それに加えて、【●●過ぎ】をしないようにしています。例えば、寝すぎ、食べすぎ、考え過ぎ、立ちすぎ、座りすぎ、、、などです。

3

**<講座に期待すること>**  
小児専門の講座があったら参加してみたいです。

## 塚田 千恵子 様

勤務先▶病院薬剤師



1

「風邪には葛根湯」いつからか脳内深くに刷り込まれていた言葉だが、確かに私と風邪との戦いには欠かせないアイテムの一つである。  
使い方によっては西洋薬よりよく効く漢方薬が使えるようになれば鬼に金棒と思い、

色々な勉強会に出席してみたものの、まずは東洋医学の考え方をきちんと習わないと駄目だという結論に至り、この講座を受講した。  
その甲斐あってか上級講座で臨床現場で働く中医師の講義を拝聴した際、中医診断学に出てくる四字熟語の嵐に面食らったものの、理解している自分に気が付いた。  
また、薬膳・推拿の講座ではその技を見、家族に試すなどした結果、家族の方が興味津々となるなど楽しい時間が持てたと感じる。

色々な中医師の先生に会い学べる事から今後も機会があれば参加したいと思う。

2

西洋医学で対応できない症例について医師からの相談に応じている。

3

事例から症例検討し証や薬の加減などの考え方が学べるような講座があると更に理解が深まるのではないかと考える。

## 井手 明美 様

勤務先▶  
漢方薬局 美遥薬局長  
薬剤師、国際中医師



### 1 <自己紹介>

大学を卒業後、複数の製薬会社で製品開発、学術教育、お薬相談窓口、マーケティングを通じて現代医療の分野に携わってきましたが、第二の人生に向けて、漢方を生涯のテーマにチャレンジしていくことを決意。  
長い会社生活にピリオドを打って、患者様の気持ちに寄り添った親身の漢方相談を目標に、2年前、自宅の一角に小さな漢方専門薬局を開きました。  
会社時代は、予定を詰め込んで忙しい日々のなかに身をおいて充実した人生を送っていると錯覚していた自分から、今はやりたかった事にしっかり向き合える時間を頂いている事に感謝して、毎日楽しみながら生活しています。

### <中医学実践講座の思い出>

初級・中級・上級と研修のステップがありましたが、会社帰りに無理なく受講することができ、試験前には何度も開催された対策講座で最大限のサポートを下さいました。過去問題でわからないことがあると、繰り返し質問をさせていただきましたが、その都度丁寧に教えてくださり、おかげ様で無事に国際中医師の資格を取ることができました。

### 2

西洋薬で良くならない、検査結果は異常がないのに調子が良くない、保険がきく漢方薬を飲んでみたけどあまり変化ないなど。。。  
漢方薬局には、実に様々な患者様が来局されますが、お金もそれなりにかかる自費診療なので、患者様に対する責任の重さを毎日かみしめています。  
実践講座で教えて頂いたことをベースに患者様一人一人の病の本質、体質をじっくりと弁証論治して、漢方薬をご服用いただいています。

### <意見>

### 3

人間が本来持っている自然治癒力を高めて、生きる力を愛年引き出してくれる漢方は、コロナ渦によってこれから更に注目されていく分野だと思います。  
民間の営利団体による様々な漢方・薬膳関係の資格が溢れている現在、東京薬科大学社会医療研究所が母体の「中医学講座」は、充実した研修カリキュラム、最終ゴールの「国際中医師」の試験合格に向けたサポート、中医学専任の講師陣、良心的な受講費用など、中医学に興味がある方に自信をもってお勧めしています。

次回「薬膳講座」を受講させていただく予定ですが、以前開講されていた「経絡講座」につきましても、オンライン研修で再開頂けることを期待しております。

## 小林 太一様

勤務先▶  
大手チェーンドラッグ勤務  
薬剤師、国際中医師



### <学生時代の薬学と中国医学研究室での思い出と受講への意思>

中国医学医学研究室での思い出は山ほどありますが、やはり「お酒・食事」と「人間関係」の事が大半を閉めています。  
学生時代、研究室を決める際に猪越先生と山田先生と三者面談があったのですが、猪越先生は全然質問がなく、山田先生が「猪越先生、最後に聞きたい事はありますか?」という投げかけに対して、唯一僕に向かって「お酒は飲めますか?」と聞かれたことを覚えています。  
初めての研究室の食事は立川の中華料理屋さんだったのですが、白酒（バイチュウ）というアルコール度数が50%くらいあるお酒が出てきて、それを飲んだ時の衝撃は凄まじく、体が焼けるように熱くなりました。  
中国研修で白酒を乾杯できないとやらないということで練習だったようです。  
今思うと猪越先生のやさしさだったんだと解釈しております。  
猪越先生はことあるごとに食事を開いてくださり、漢方関連の方や経営者、大学教授など沢山の素晴らしい人に合わせていただきました。  
人との繋がり大切にすることを教えてくださりました。  
また、食事会では医食同源の考えで食品の薬効・薬理などを学ぶ事ができました。  
二日酔いにならない為の漢方も学ぶ事ができました。  
6月に行った薬膳パーティーでは、梅雨で湿邪が体に溜まらないように、利水作用のあるトウモロコシやハトムギなどを使用した薬膳

料理を作りました。日々の食生活の大切さや、身近にある食品の効果や性質について勉強することができました。  
大学五年生の時に立ち上げた中国医学サークルでは、体質改善相談会や漢方薬の展覧会、水餃子屋台を出店しました。  
病院・薬局実習期間中だったため、研究室の皆と水餃子用の具材を実習後にみじん切りにしたのはきつかったですがいい思い出です。  
食事を通してたくさんの事を学んだ研究室生活でした。  
中国医学研究室は普段の研究は特に無かったため、自分の学ぶ機会を作る為と、学んだ事を形に残すために中国医学講座を受ける事にしました。  
僕の実家は薬局で、当初は継ぐつもりでしたので、薬剤師と国際中医師資格があれば将来役に立つかなとも考えました。

### <受講を初めてからの講座の思い出>

大学四年から卒業までの間で初級講座から上級講座までを受講し終えました。  
大学で病院・薬局実習や試験、文化祭準備、サークル運営などをしながら飯田橋まで受講しに行っていたので今思うととても大変でした。  
大学の漢方の授業は、漢方薬の原料となる植物の成分や使用部位などの勉強ばかりでとても退屈なものでしたが、中国医学講座での漢方の授業は実践的な内容が多く、知識だけでなく、中国医学という独特な考え方を教えてもらえるのがとても楽しかったです。  
また、王先生の実際の現場での体験談などは教科書では学べない内容で勉強になりました。  
僕は大学時代に講座を受け終え、社会人二年目の時に国際中医師試験を無事パスする事ができました。  
最終的に学んだものが形になった事に今は達成感を感じています。

### <長春中国医薬大学研修に参加して>

長春での研修では本場の漢方薬局や病院での漢方調剤の現場を見ることができました。  
街中に大きな漢方専門の病院がある風景は日本では考えられないので、ここまで漢方医学が国民に馴染み、認められていることはすごいことだと思いました。  
研修で針を膝やこめかみに刺してもらったんですが、太い針なのに全然痛くなかった事に驚きました。  
また、針をうつってもらったあと、目の疲れや胃腸の不快感がとれた即効性にも驚きました。  
優れた技術を体験できたと思っています。  
そして、経絡、経穴の存在を肌で感じる事ができました。  
研修中は毎晩のようにお酒が出てきて白酒を乾杯し、中国の方と友達になれたので日本にいたときに練習しといて良かったなと思いました。

### <卒業から現在までの近況>

卒業後、滋養の有力な相談薬局に就職しました。調剤部門で働いていたので市販の漢方に触れる機会は少なかったのですが、イベントなどで漢方相談や血流測定、薬膳のアドバイスなどをしていました。  
また、保険薬剤師としてツムラやクラシエなど日本漢方、西洋薬などに振れることができ、中国医学、日本漢方、西洋医学について幅広い知識を日々勉強する事ができました。  
結婚相手の関係で実家の薬局を継ぐ事を辞め、滋賀県から埼玉県に移住し、現在はドラッグストアで調剤やOTC相談などをしています。  
将来は薬局経営が夢なので、これからも幅広く医学の知識を高めるのと同時に、研究室で学んだ「人間関係の大切さ」を忘れずに過ごして生きたいと考えております。

# 国際中医薬膳管理師資格認定制度

一般財団法人ヘルスケア社会医療研究所は2020年6月に新たに長春中医药大学と学術協定を締結しました。

2014年から開始された中国医学実践講座は2015年より世界中医薬学会連合会（国家中医薬管理局傘下の公的国際中医師資格認定団体）の基に国際中医師資格認定試験を東京にて開催して多くの合格者（合格率89%）を輩出しています。

このたび当財団は、世界中医薬学会連合会の管理下にある＜国際中医薬膳管理師の資格認定＞制度を2021年度より設けることとしました。

当財団の初級講座、中級講座、薬膳講座を修了されている受講者の皆様には受験資格が既にあります\*1。

（上級講座受講は必須ではありません。もちろん、上級修了者、国際中医師資格者も有受験資格者です。国際中医師資格者は薬膳基礎科目が免除されます。）

全てが初めての方は2021年3月からの薬膳講座からスタートとなりますが、すでに講座を修了されている方は残りの講座を計画的に受講されて、早ければ2021年12月に試験受験が可能となります。

国際中医薬膳師の資格認定を目指す方は是非この機会に挑戦してください。

数年前に受講を修了され、復習を希望される方には当財団の各講座DVDを廉価でご提供致します。また2021年秋季には国際中医薬膳管理師資格の受験のための対策講座も予定しております。

中医薬の学問は中国起源の、数千年の長い生活実践の歴史があります。その独自理論と実

践効果は人々の健康に多大なる貢献をもたらしました。高齢化社会の中で健康寿命、ヘルスケア、未病予防の考えによって、生活習慣が重視され、健康維持のために投薬から規則正しい食事、生活が求められています。中医薬学を基盤とした薬膳・食養の修得、「食食同源」理論に基づき、中医薬学・薬膳学を修得した能力認定として国際中医薬膳師の資格は大変有効です。

\*1) これまで実施して来た薬膳講座は中国医学の「食食同源」理論に基づいた講座ですが、国際中医薬膳管理師資格の取得を主目的としたものではありませんでした。受験には中医薬学、中医薬養学・薬膳学の体系的習得も必要です。2021年薬膳講座ではこの観点も重視した講義とします。また3月薬膳受講者や以前に薬膳講座を修了された方が受験され、合格するために、更に秋季に国際中医薬膳管理師による効果的な復習予習の試験対策講座を設ける予定です。詳細は当財団HPを御覧ください。

## 国際中医薬膳管理師試験について

2021年より実施予定の上記資格試験は例年11月下旬から12月初旬に開催する国際中医師資格試験と同日同会場で開催します。日時会場が確定するのは10月頃です。申込受付は同様に7月となります。9月から11月にかけて希望される受験資格者には対策講座を実施する予定です（受験科目の概要的復習、eラーニングとする場合もあります）。



## 国際薬膳管理師資格（世界中医学会連合会認定）取得の手順



試験受験  
（国際中医師  
試験日同時）

- 1 薬膳基礎
- 2 薬膳原料1
- 3 薬膳原料2
- 4 薬膳メニュー
- 5 辨証施膳

国際中医薬膳管理師

国際薬膳管理師資格受験のための  
各ケースでの必須受講講座  
中医薬上級講座は必須ではありません。

補習講義の設定